

調布景観クイズ

日本の子ども達に虹の絵を描かせると誰もが7色の色で描きます。しかし、国や時代によって虹の色の数え方が異なり、2色や3色、5色、6色など様々です。アメリカなどの英語圏では虹を6色と捉え、日本の虹より一つ少ないですが、その色は何色でしょうか？

【ヒント】

日本では昔から使われる伝統的な色で、手ぬぐいなどの染物や、歌川広重をはじめとする多くの絵師の作品に用いられたことから外国では「ジャパンプルー」とも呼ばれています。

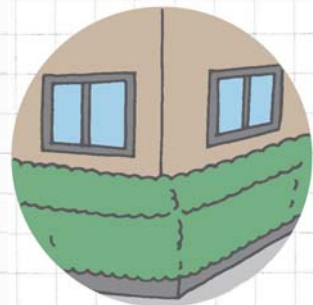


正解はページの下を見てね！

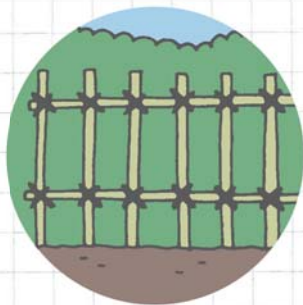
■次号の予告

次号は自分の家の周りのできる、まちなみの魅力を高める工夫について紹介します。

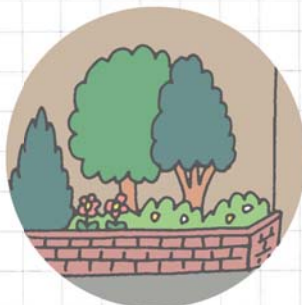
垣、柵、塀、玄関・アプローチなど、通りに面する部分は建物の「顔」となる場所です。少しの工夫をするだけで、まちなみの景観をより魅力的にすることができます。



生垣



竹垣



花壇などの
植栽



玄関周りの
工夫

◎お知らせ◎

平成26年度
第4回
調布市景観審議会を
開催します。

日時
平成27年2月18日(水)
午前10時から

会場
調布市教育会館2階
202・203会議室

※傍聴が可能です。

定員:10名【先着】

傍聴受付時間:
午前9時30分から
午前9時50分まで

正解: 藍色。日本ではニュートンの虹の研究を学校教育に取り入れたことで7色の虹が一般的に広まったとされています。当時ニュートンも藍色(インディゴ)を含めた7色を「虹」としていましたが、英語圏では定着しませんでした。

調布市では、景観まちづくりについて、景観だよりでお知らせをしていきます。

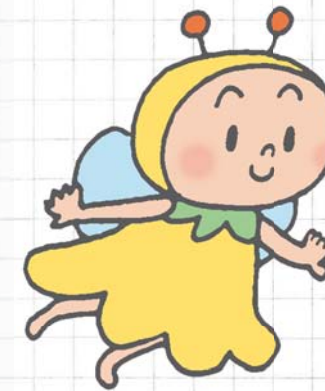
発行 調布市都市整備部 都市計画課 景観係

Tel : 042-481-7746 Fax : 042-481-6800 mail : keikaku@w2.city.chofu.tokyo.jp

ちょうふ 景観 だより

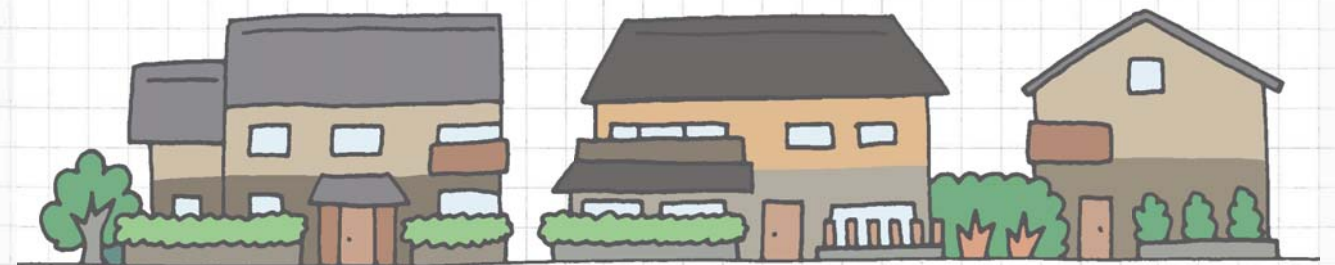
平成27年1月28日発行

第22号



■自分の家の色を考えてみよう!

自分の家の色はどのような色ですか? また、もしあなたがこれから建て替えたり、色を塗り替えるとしたら、どのような色の家にしたいですか? 今回は建物の「色」について考えてみましょう!



今号の目次

- 自分の家の色を考えてみよう! (1ページ)
- 様々な「色」について (2ページ)
- 色の基礎知識 (2ページ)
- 周辺との調和について考えよう! (3ページ)
- 色の「面積効果」 (3ページ)
- 色の選び方について (3ページ)
- 次号の予告・お知らせ (4ページ)

■様々な「色」について

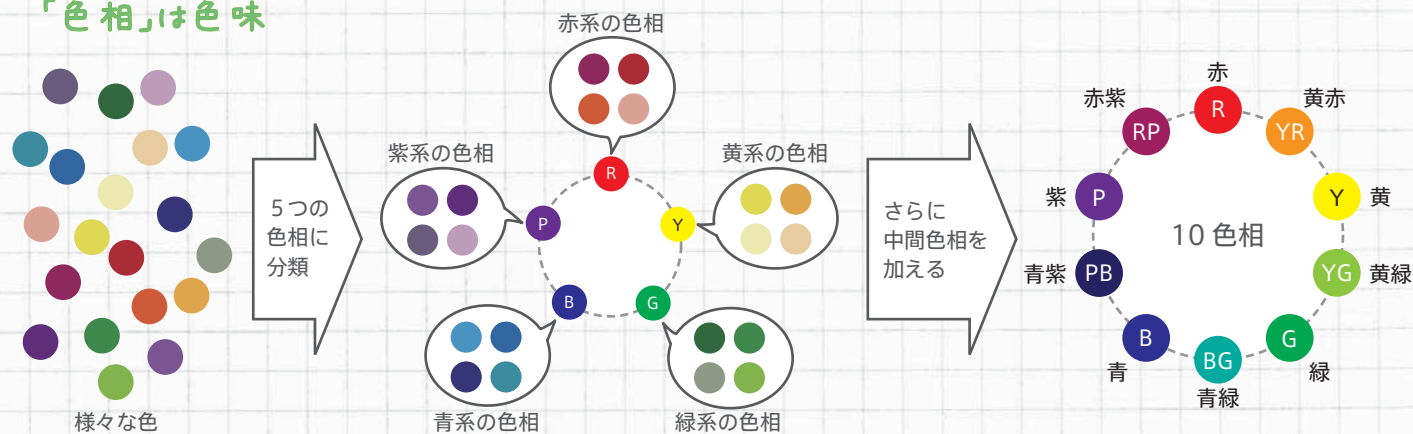
まちの中には様々な色があります。木や花、空といった自然の色や建物の色など、私たちの周りにはたくさん色が存在します。家の色を決める際にも、これらの『色』との調和について考えることでより良い景観づくりにつながります。



●色の基礎知識

世の中には、たくさんの種類の色があります。これらの色を似た色合い、『色相』で分けていくと、大きく5つに分類できます。さらに、その5つに中間色相を加えると10の色相になり、これが色を考える際の基準となります。

「色相」は色味

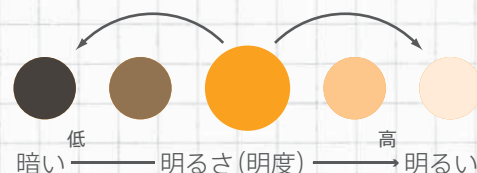


また、同じ色相でも『明度』や『彩度』を変えると様々な色に変わり、色の印象が変わります。

「明度」は色の明るさ

例) 色相はY R (黄赤)系

黒を加えるとさらに明度は下がります。

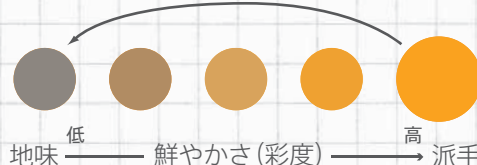


白を加えるとさらに明度は上がります。

「彩度」は色の鮮やかさ

例) 色相はY R (黄赤)系

グレーを加えるとさらに彩度は下がります。



同じ色相でも印象がすごく変わるんだね。

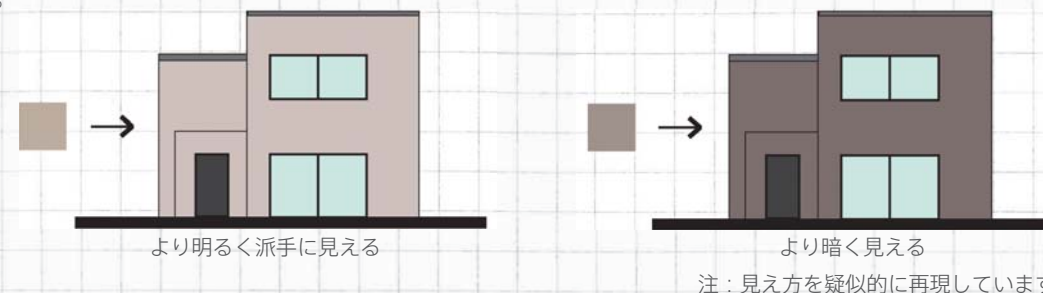


■周辺との調和について考えよう!

●色の「面積効果」

小さな色見本で決めた色と実際に外壁など大きな面積に塗ったような場合では、違った明るさや色味に見えてしまうことがあります。この面積の大小によって、色の見え方や印象が変わってしまう現象を『面積効果』といいます。

明るい色は、より明るい色に、暗い色は、より暗い色に見えてしまいますので注意しましょう。



●色の選び方について

調布市内では、多くの建物の外壁の色がYR(黄赤)系やY(黄)系の色相を用いているという特徴があります。また、市内には都市農地の緑や、国分寺崖線、多摩川、野川など、多くの自然が残されています。

以上のことから、家の色を決める際には、色相については、現在の街並みの基本の色となっているYR(黄赤)系やY(黄)系の色相を選び、明度、彩度については市内の自然環境を引き立たせるよう中明度、低彩度を選ぶことをおすすめします。

家にはどのような色を使えばいいのかな?



都市農地と調和した建物



背景の国分寺崖線と調和した建物



野川と調和した建物

ポイント

- ・まちの中には自然の色や建物の色など、様々な色があり、家の色を決める際にこれらとの調和について考えることでより良い景観づくりにつながります。
- ・家の外壁のような大きな面積のものに、派手な色を使うと、より一層派手に見えてしまうので注意しましょう。
- ・あなたの住む地域の景観を魅力的にするための重要なポイントとなります。家の色を決める際には、周りの建物や周りの自然と調和のとれた落ち着いた色(中明度・低彩度のYR(黄赤)系、Y(黄)系)を選びましょう。